

広島大学インキュベーション研究拠点  
「本能行動の発現メカニズムに関する総合科学研究推進拠点  
—大学生の生活習慣及び科学リテラシーの確立へ向けて—」  
第11回 研究セミナー

本研究拠点の目的は、本能行動をはじめとする様々な生命現象を生命科学・健康スポーツ科学・行動科学等の学際・異分野融合的な立場から解明することです。

この度、学外から講師の先生をお呼びし、講演を行っていただきます。  
教員、院生、学部生を問わず多数のご参加をお待ちしております。

【日時】 2016年6月24日（金） 16：30～18：00

【場所】 総合科学研究科 講義室 J206

【演者・講演内容】 柳田 信也（東京理科大学 理工学部 講師）

運動による抗うつ・抗不安効果の脳内神経機構—ラットモデルを用いた検討—

運動は身体的健康増進に寄与するのみならず、こころの健康の維持増進にも効果があると言われていています。その運動によるメンタルヘルス増進効果について、近年、さまざまな研究成果が報告されていますが、我々は運動の量ややり方によって、その効果が異なることかどうかについて検討してきました。本セミナーでは、特に運動の抗うつ・抗不安効果に注目し、各種運動条件の違いがラットの脳神経機構にどのような影響を及ぼすのかについて紹介し、メンタルヘルスの維持増進における運動の意義を考えます。

【問合せ】 長谷川 博  
（総合科学研究科 行動科学講座 内線6592）

\*本研究セミナーは、総合科学推進プロジェクトの支援を受けています。

また、理系大学院（総合科学・理学・先端物質科学・工学・生物圏科学研究科）の認定科目として開催します。